

■葛井寺藤まつり 4月19～30日

今年の葛井寺「藤まつり」は気温が高く、花の咲き始めが早くなり、例年より約1週間早い4月14日～29日で行われました。当会も境内にテントを設営し、参詣者に境内や周辺のご案内をしました。参詣者の出足も早く、土・日曜は特に盛況で、天平衣装撮影会の21日、22日は当会のテントを開く10時前より待つ人で、一日てんやわんやの対応となりました。昨年に比べ2.2倍の45組88名の方が、楽しそうにポーズをとり、藤の花に負けぬ美しい笑顔を咲かせていました。

比較的天気にも恵まれ、テントでご案内した数は2097名と昨年比38%の大幅増でした。藤の花の咲き具合は気候の不順もありやや不調でしたが、今年の特徴的なことは葛井寺のテレビ放映がたびたびされたことでしょうか。3月に東京国立博物館の国宝展にご本尊が出開帳され、圧倒的な人気を受けました。また、西国三十三ヶ所観音霊場の今年の当番にあたり、阿弥陀二十五菩薩堂が約50年振りに一般公開されました。この為遠く関東方面からも多くの参詣がありました。東京で千手千眼十一面観音を拝観し、その迫力に感動され、出張の合間に訪ねて来られた60歳前後の立派な紳士は「思ったより、境内が狭いですね。葛井寺は藤ではなくて葛ですがどうしてですか？」と尋ねられ、もっと大きな寺かと思っておられたようです。境内や周辺のミニガイドもひっきりなしで大盛況のうちに30日、当会のテントを撤収致しました。ご参加いただいた皆様、関係の方々ご協力ありがとうございました。

(2018/5 小野)



ご了承を得て掲載しています